

業界研究

製造業（自動車用部品）

☆今回は「業界を知る本音トークセミナー」（2022/8/3開催）製造業（自動車用部品）における現状をお伝えします。

業界のいま

・自動車業界の現状

「100年に一度の変革期」と言われており、EV車への変化が加速している。部品が変化しており、今まで使われてきた部品が使われなくなっていく。（ガソリンエンジン× ⇒ モーター○）これまで自動車製造に関わっていなかった業界も参入しており、今まで自動車に携わってきた企業が変化を求められている。

・自動車用ゴム部品の変化

自動車部品の変化に伴い必要とされるエンジン等の駆動系を中心にゴム部品も変化を続けている。

ハローワーク担当者から一言

自動車部品製造は人々の移動や物流、交通などの生活や経済に大きく関係しており、携わった仕事・自動車が将来世界中で役に立つことに大きなやりがいを感じられる仕事であることをお伺いできました。今業界が変革期を迎えており、若い皆さんの元気やアイデアが活かせるチャンスにあふれていると思われます。興味を持ってこの業界に挑戦してみてください。

お話いただいた企業



社名：西川ゴム工業株式会社
所在地：広島県広島市西区三篠町2丁目2-8
設立：昭和24年
資本金：33億6448万円
社員数：1395名

人事部 課長
高瀬 惣一 様

採用したい人物像

- ◎ 自走力、好奇心、多様性を持ち、対応できる人
- ◎ 自分の頭で考え、自走できる人
- ◎ 目標達成に向けて努力できる人

卓越したシール&フォームエンジニアリングから生み出す製品・サービスを通じて世界中のお客様に「快適」をお届けする企業グループを目指しております。

* シール（密封）& フォーム（発砲）技術

自動車用シール材（ドア・窓まわりとボディの隙間から風雨、音等の侵入を防ぐ部品）を開発、製造、販売

* 国内の全自動車メーカーから高い信頼

国内シェア50%と国内トップシェアを誇るBtoB（企業間取引）メーカー
国内生産車の2台に1台には使われています

◆◆ 座談会 ◆◆

参加者が講師を囲んで、会社の詳細や業界の歴史についてお答えいただきました。

Q 自動車のシール材の他に化粧品のパフも製造しているのですか？

A 元々はゴム材で海绵製品を製造しており、後から自動車部品を手がけるようになりました。今では大部分が自動車部品となりました。広島周辺の地域は昔は鉄鋼業が盛んで鉄製品を輸出して天然ゴムを輸入していたことからゴム製品を扱う会社ができた経緯があります。

Q 外国人留学生は活躍していますか？

A 活躍しています。主にグローバル、経理、購買の部署で活躍しています。その他、技能実習生も200名程度在籍。活躍しています。

Q 転職はありますか？

A 結論から言うとあります。職種は営業の方が中心で国内営業拠点、海外の拠点への転職もあります。海外の場合、3年（アメリカは5年）で戻ります。その他の職種はマネジメントの立場になれば可能性があります。



- 自動車部品に限らず他分野のものにも参入し、幅広く活躍しておられることを知ることができました。
- 自動車業界の現状や歴史を知ることができ、とても参考になりました。
- BtoBとBtoCの違いとそれぞれのビジネスの特徴を知ることができました。
- 自動車業界が今変革期を迎え、これから自動車が変わるのを見ていくことが楽しみにになりました。
- 広島で自動車部品を手がけている会社がマツダ関連だけでなく、国内の全ての自動車メーカーと取引をしておられ、トップシェアを誇ることにとても驚きました。

受講の感想